



Zikomo kwambiri!



ジ コ モ

ク ワ ン ビ リ

異国で感じる人々の温かさ

Muli Bwanji(ムリブワンジ)? 6月中旬あたりから急に寒くなりザンビアはすっかり冬です。最近いよいよ朝起きるのが辛くなってきました(笑) 寒いと言っても朝晩は 10℃くらい、日中は 20℃くらい。気づけば 1 年前、同じくらいの気候でザンビアに来た時は過ごしやすいなと思っていましたが、最近はザンビア人ようになってきて、コートが手放せません。帰国した後に日本の冬を乗り切れるか今から心配です。

この時期寒さから多くのザンビア人たちが体調を崩しています。学校でも子どもたちが体調不良で休むこともしばしば。私も例に習ってしっかり風邪をひきました。咳と鼻風邪だけで熱はなかったので数日普通に出勤していたら、とうとう「体調が悪いのになんで来ているんだ!早く帰って休みなさい!ザンビアで死にたいの!?!」と言われてしまいました。そして私が休まないのを見越してか、「明日は来るな!」とまで。「休め」と言われないと休めない日本人 vs 温かいザンビア人の戦いは圧倒的にザンビア人の勝利で、次の日はしっかり休ませてもらいました。帰る前、「あったかい紅茶に生姜とレモン入れて飲みな!治るから!」とみんなから言われました。あまりにもみんなが同じことを言うので、思わず笑ってしまいました。みんな本当に優しいですね。異国ではこの優しさが本当に沁みます。「ザンビアで死にたいの!?!」と言っていた同僚も風邪を引いていたので、「次はあなたが休む番だよ」と言ったら「私は大丈夫」と。「何言ってるの、ザンビアで死にたいの!?!」と言ったら、言われたわ~という顔をしたあと、はっとして「私はザンビア人だからここで死んでも大丈夫」とドヤ顔で言われました(笑) ちなみに、次の日その人もすっかり休んでいたの安心しました。

ザンビア観光情報 part 1

魅力がたくさんザンビア!今回はリビングストーンについて紹介したいと思います!リビングストーンはザンビアの一番の観光地!世界三大瀑布であるヴィクトリアの滝があります。滝のベストシーズンは4月です!雨季が終わって乾季に移るタイミングなので、水量が多くて圧巻です!雨の心配がないので他の観光もしやすいです(滝の水が凄すぎてレインコートは必須ですが)!さらに早朝と夕方には、まんまるの大きな虹を見ることができます!アクティビティも充実していて、ヘリコプター、クルージング、サファリ、ライオンウォークやラフティングなどを楽しむことができます。おすすめはヘリコプターとクルージングです!ぜひザンビアを訪れる際には行ってみてください!



2学期が終了しました!

先日長い2学期が終わりターム(学期)休みに入りました。ザンビアでは冬ですが、8月は日本が夏休みなので、どうしても「夏休み」と言いたくなります。2学期は基本的に前回に引き続き聴覚障害5年生を担当していましたが現地の先生の出張や休暇が多かったので、単発的に違うクラスを担当することが何度ありました。日本でいう、自習監督の役割ですね。中でも面白かったことは、聴覚障害の2年生と3年生を同時展開して教えていた時のこと。特に3年生には元気な生徒が多くて、とにかくずっと喋っている!もちろん会話は手話なのでガヤガヤしているわけではないのですが、人生で初めて、こんなに静かなのに「うるさい!」と思いました(笑)

そんな2年生、3年生クラスですが、テスト期間は6日間にもかかわらず5教科しかないのに、余った1日で0年生(日本でいう幼稚園年長)と1年生も交えて日本の遊びを紹介しました!折り紙でお相撲さんを作りその後実際にトントン相撲を、そしてその後にハンカチ落としと震源地ゲームをしました。ザンビア人は誰に対しても平等だなど感じる人が多いのですが、ハンカチ落としの時には、子どもたちも誰がハンカチを落とされていなくて覚えている、落とされていない子に敢えてハンカチ落としていたり、〇〇がまだだよとお互いに言い合ったり、気を使っていてすごいなと思いました。子どもたちも楽しんでくれていてよかったです。ちなみに、男の子たちはトントン相撲にドハマリしていて、その日以来ブレイクタイムにもトントン相撲で遊んでくれるようになりました!そんな様子を見ながら、この子達が大人になって「そういえば日本人にこんな遊びを覚えてもらったな」と私や日本のことを思い出してくれる日が来るのかな、なんて考えていたら協力隊ってすごいかもと思いました。



静かな教会

ザンビアでは8割ほどの人がキリスト教です。信仰心は強めて日曜日には教会に行く人が多いので、街はいつもより静かになります。ザンビアの教会では、“アフリカらしく”歌で盛り上がるのが一般的です。教会というよりまるでライブコンサート!という教会も珍しくありません。ですが、私が最近行っている教会は音が一切ありません。なぜなら聴覚障害を持つ牧師さんが耳の聞こえない子どもたちのために配属先の学校の教室で聖書を読む、日曜学校だからです。プログラムは他の教会と同じで、聖書を読んで牧師さんの話を聞いたり、募金をしたり、歌を歌ったりしています。一般的な教会では手話通訳がないので、耳の聞こえない子どもたちが置いてけぼりにならないようにと始めたそうです。参加者のほとんどは聴覚障害を持っていますが、聞こえる人も数名いて、手話から音声に通訳してくれます。聴覚障害を持っていたとしても、歌はアフリカらしく大盛り上がりです!

